

HAKUA TSUSHIN

岩手県立盛岡第一高等学校白堊同窓会事務局



2019.12.19 No.39

〒 020-8515 岩手県盛岡市上田 3-2-1
TEL・FAX (019) 624-0765(白堊記念館)
mail : info@hakua1880.jp
TEL (019) 623-4491(学校)
<http://www2.iwate-ed.jp/mo1-h/>(学校)
<https://hakua-dousoukai.jp/>(同窓会)

四代目上田校舎
(現校舎) 1999(平成11年)~

令和
元年
新入生

初代内丸校舎

1885(明治18年)~1917(大正6年)



三代目上田校舎

1962(昭和37年)~1999(平成11年)

二代目上田校舎

1917(大正6年)~1962(昭和37年)



創立百四十周年を前に



白鹿洞書院

藤尾 善一
(昭和45年卒)

会員各位には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年の白堊同窓会は、139周年記念として、平成7年次の担当幹事により、盛岡市内のホテルで盛大に執り行われたところです。各地区同窓会や各クラブの同窓会も多数参加、何よりも最高齢の大先輩、昭和20年卒業の中谷、佐々木両大兄も相変わらずご健在で参加いただいたことは喜ばしい限り

記念講演は新進気鋭の国際派弁護士、宍戸一樹さん（平成7年卒）によるもので、グローバル法務の状況を興味深く拝聴できたところです。

ところで、ご両親とともに同窓生（お父様、昭和38年卒、お母様、同39年卒）ということで、今回一緒に参加していただきましたが、お母様の弟さんは、母校の元教諭にして元硬式野球部監督の川村祥平先生（昭和42年卒）であり、その

総会では、母校の発展と後輩の育成に資する事業を行なうこと、そして所要財源は寄付を募るのでなく年会費の中で賄うことで、了承を得たところです。今後詳細を詰めますが、これまでのところ、主要催事として、記念式典、祝賀会のほか、卒業生による記念講演、SGHの後継事業としての海外派遣、白堊校所蔵展、応援旗祭などがあがつております。会員の連帯と絆で培われた母校愛の發揮により、母校の更なる発展を期して参りますので、引き続きのご理解とご協力をお願ひいたします。

六番シヨートで大活躍したわが同期の川村協平君（昭和45年卒）、加えて、一樹さんの弟さんは私が勤務する盛岡市役所の俊英です。こうした縁に出会うのも同窓会ならではです。

A circular portrait of a middle-aged man with dark hair and glasses, wearing a dark suit and white shirt.

校長

佐藤有
(昭和54年卒)

同窓会の皆様方には日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力・ご支援をいたしておりますことに感謝申し上げます。本年4月に校長に着任いたしました昭和54年卒業の佐藤有と申します。本校には先に教諭、副校长としてお世話になりましたが、歴史と伝統に輝く白堊校に再び勤めることの光栄と責任の重さに身の引きしめる思いをいたしております。生徒時代を含めて4回目の在籍となります。これまでの関わりに応えるためにも、緊縛一番、精いっぱい努力する所存でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、近年、教育現場へのAI導入など急速な進展に伴い、人工知能が人間の職業を奪ってしまうのではないかとか、いつた不安の声を耳にします。しかし、世の中には、「どんなに社会が変化しても、時代を超えて変わらない、価値のあるもの」と「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」があります。令和の新しい時代、学校現場においても様々な改革が求められていますが、教育の理念を真摯に受け止め、目の前の事象に振り回されることなく、不易流行、時代とともに変えていかなければならないもの、また、変えてはならないものを問い合わせながら、学校経営に携わつていきたいと考えています。

「時代の先駆者として社会に貢献する人材の育成」することは、本校の教育目標ですが、明治13年の本校開学式にあたつて、初代校長の浦地弥太郎校長は、「他日文明ノ先駆ヲナシ、天下ノ大

将来、時代の先駆者として国家や社会のリーダーとして活躍する優れた人材が必ず輩出すると強い気概をもつて開校したと聞いています。その予言どおり、明治・大正・昭和・平成の歴史を積む中で、各界、第一線で活躍する多くの先人、人材を輩出しています。

そして現在、文部科学省から指定のスレバー・グローバル・ハイスクール（SGH）事業の指定を受け、国内外の課題に目を向けて、調査・議論・検証を通して課題解決を図る探究活動を行っています。11月には、台湾に生徒を派遣し、現地におけるフィールドワークや現地高校生とのローバル課題について意見交換などを通じて、その様子は現地のメディアにも取り上げられました。今まさに、科学技術と人間の創造・想像力を融合させ、新しい価値を創造することが求められていますが、本校にはそのバイオニアとなる人材を育成する使命が課せられております。この事業は今年度で終了となります。次年度以降もこれまでの成果をさらに深化拡充させ、21世紀の理想的な社会を開拓し得る人材の育成に努めてまいりたいと考えています。

創立以来、文武両道、隆々発展を重ねてきた本校は、来年140周年の記念すべき節目を迎えます。同窓生の皆様や、在校生諸君の母校、盛岡一高に対する熱い思いを結実させて、白堊校が未だ永劫、輝き、邁進し続ける願いを込めて事業を推進していきます。皆様のご支援ご指導を賜りますようお願いいたします。



総会報告

平成7年次代表

安保 寛明

去る10月12日(土)創立139周年令和元年度白聖同窓会総会が、盛岡市ホテルメトロボリタンニューウィングにて開催されました。まさに台風19号が上陸せんとする日での開催となり、この影響で、出席予定の会員も来場できなかつた方が多いと聞いております。かくいう私も、年次代表で総会の議長を務める予定でしたが、出張先のボローニャからの便が足止めになり、総会への出席ができませんでした。そのような状況でしたのが、幹事学年である平成7年卒業生は20名以上が運営に参加し、総会の部、講演会の部、懇親会の部の三部構成での例年通りの開催ができました。

総会の部では、藤尾善一同窓会長、佐藤有校長の挨拶の後に、議案審議が行われました。総会の進行は、議長として村上法子(平成7年卒)、副議長として藤原伸也(平成8年卒)が選出されました。事務局から会務報告があり、第1号議案「平成30年度事業計画について」第2号議案「令和元年度予算について」第3号議案「平成30年度決算報告について」第4号議案「令和元年式典開催および10年小史発行について」の5議案について上程され、審議のうえで承認されました。講演会の部では、平成7年次卒業生でもある宍戸一樹くんを演者として招聘し、「グローバル法務の最前線」と題する講演会が行われました。国際的な法務活動の例としてスポーツの分野

野を例示し、言語や文化を超えた交流や創造に向けた貢献が紹介されました。また、白聖校での経験やつながりも紹介され、同窓会総会らしい講演でもありました。詳しくは本白聖通信内の講演録をご覧ください。懇親会の部では、林晶子同窓会副会長による開会宣言、藤尾善一同窓会長の挨拶に続いて年卒の藤原浩様による乾杯のご発声により懇親会の幕が開けました。同窓生との再会や世代間の交流も密に行われて楽しい時間があつたと聞き及んでおります。締めくくりには平成7年次応援団長竹内嘉次郎くんを筆頭に、菅原正森くん、野村耕一くんのリードと柏館俊明くんのリードと柏館俊明くんによつて校歌斎唱と母校である岩手県立盛岡第一高等学校へのエールを行い、大きく盛り上がりました。阿部弘一副会長の閉会宣言により懇親会と総会へ一切が終了となりました。

平成30年度白聖同窓会一般会計決算 (平成30年4月1日~平成31年3月31日)

科 目	予算額	収入額	増 減	摘要
会 費	8,800,000	8,892,000	92,000	平成30年度入金 4,446件
入会金	558,000	555,000	-3,000	3学年分
予納金	1,459,800	1,459,800	-15,000	1・2・3学年分
繰入金	21,000,000	21,000,000	0	
繰越金	1,904,008	1,904,008	0	29年度より
雑収入	11,092	188,074	176,982	預金利息、宛名シール代
計	33,747,900	33,998,882	250,982	

支出

科 目	予算額	支出額	増 減	摘要
事務費	280,000	348,921	-68,921	事務用品(封筒トナー等含)140,387円 電話代 127,373円(通信費含) 残高確認代 2,592円 郵送代(切手代含)70,538円、払込手数料 1,080円 建物共済加入負担金 14円、職員登録 4,320円 記念館施設使用光熱水料 2,617円
慶弔費	200,000	254,610	-54,610	各白聖会派遣祝金、会議参加費、弔電代
旅費	200,000	335,388	-135,388	各白聖会派遣旅費
会議費	280,000	328,579	-48,579	役員、常勤幹事、年次代表者会、編集、名簿 ウェブサイト 各委員会会議
事業費	1,418,000	1,412,640	5,360	新入生入学記念品代、応援旗、ウェブサイト代
総会関係費	600,000	553,224	46,776	総会資料作成代、主管年次及び総会代金等 補助金、講演者謝礼、物品使用代
キャリアアップ融資	150,000	58,809	91,191	1学年
名簿作成費	0	0	0	
会報刊行費	3,000,000	3,210,683	-210,683	38号発刊、会員へ郵送
事務局員費	1,487,000	1,490,954	-3,954	事務局員給料、退職積立金、健康診断代
国際交流費	1,500,000	1,500,000	0	白聖振興会へ
財産積立譲り受け	0	0	0	
部活動費	1,800,000	1,410,000	390,000	
夜間照明設備費	22,000,000	22,000,000	0	夜間照明設備特別会計へ
会費払込手数料	572,000	471,630	100,370	
予備費	260,900	0	260,900	
次年度繰越金	0	623,444	-623,444	
計	33,747,900	33,998,882	-250,982	

収入 清額 33,998,882 - 支出 清額 33,998,882 = 差引残高(繰越金) 0 今年度より次年度繰越金を支出し表内に表記しておりますので、差引残高が0となります。

令和元年度白聖同窓会新役員

会 副	長	藤	尾	善	一	(昭和 45 年卒)	再任
会 副	長	林	晶	子	(昭和 46 年卒)	再任	
会 副	長	阿	弘	一	(昭和 50 年卒)	再任	
会 副	長	高	瑞	彦	(昭和 52 年卒)	再任	
会 副	長	橋	有	有	(昭和 54 年卒)	新任 (校長)	
会 副	長	橋	千	弘	(昭和 41 年卒)	再任	
会 副	長	千	吉	田	(昭和 45 年卒)	再任	
監	事	工	吉	雄	(昭和 50 年卒)	再任	
監	事	工	藤	重	(昭和 50 年卒)	再任	

常任幹事長	高 橋 瑛	至 (昭和 40 年卒)	再任
常任幹事	木 村 みな子	(昭和 45 年卒)	再任
常任幹事	中 野 孝之助	(昭和 48 年卒)	再任
常任幹事	内 山 美	(昭和 49 年卒)	再任
常任幹事	藤 澤 義	(昭和 52 年卒)	新任
常任幹事	菊 地 和	(昭和 53 年卒)	再任
常任幹事	佐 久 山 隆	(昭和 61 年卒)	再任
常任幹事	谷 地 館 勝	(平成 元 年卒)	再任
常任幹事	大 森 健	(平成 2 年卒)	新任
常任幹事	早 野 俊	(平成 13 年卒)	再任
常任幹事	阿 部 圭	(昭和 56 年卒)	(副校長)



（卒業してから半世紀）

菊池 純朗・丸岡 裕作（昭和44年卒幹事）

昭和44年に卒業した我々の学年は毎年8月第2土曜日に同級会を開催しています。名前はその卒業年度にちなんで「獅子の会」。年度の代表幹事阿部栄一君をはじめとし、数年ごとの持ち回りで幹事団を編成して準備・運営をしています。

昨年の参加呼びかけスローガンは「あの興奮から半世紀！」。我々が3年生だったあの夏の甲子園での野球部の活躍に「血湧き」「肉踊り」「声帯も破れよ」と声を張りあげたあの時を思い出し集めようという趣旨です。

初戦は不戦勝、二回戦は徳島の鴨島商業、三回戦はなんと前年の春の選抜大会優勝校の大分津久見高校を9対4で撃破。盛岡の市民にとつてはあまり違和感の無かった弊衣破帽姿、太鼓と蛮声だけの応援も甲子園球場に来ていた観客の人たちだけでなく世の人々を驚かせ、また旧制高校出身の大先輩たちからは大いに懐かしがられたものでした。

そんな大活躍でしたから新大阪駅の地下通路をその姿で腰に手ぬぐい、みんな足駄か下駄ですからガランゴロン・ガランゴロンとシンクリートのトンネルに響き渡る音は「盛岡一高ここにあり」と誇らしいものでした。

今年は「（卒業してから半世紀）」と銘打つて開催しました。参加者は47人でした。本会には、恩師の高橋力先生にご出席を賜りました。先生は今年卒寿を迎えられ、大変お元気で、勇気づけられる温かいお言葉をいただきました。

また、昨年は、高橋力先生の国語の授業を開催しました。この授業は、同窓生20人が茶房「time&space 愛宕下」に集い行われました。未だ矍鑠（かくしゃく）たる力先生「皆さんには本を読め、勉強しろと言つてきました。手前、自分も死ぬまで勉強しなければならないと思い日々を過ごしています」

「盛岡一高という学校は本当に素晴らしい学



同窓会だより

令和元年霜月某日： 工藤嘉英（平成元年卒年次代表）

同窓会だより

「30周年で集まつたと思うんですけどその時の様子とかを白聖通

信に」との事務局からの電話に「いや、特に30周年だからと集まつていませんですよ」と答えた後の僅かな沈黙。予想もしなかつた答

えと理解し難い存在に出会つてしまつたかのような（汗）。

あー、まあ、一般的には何十周

年つて記念行事にして盛大にやりますもんねー（大汗）。そこは同窓会総会の幹事担当年に在学時の学生服を纏つた「コスプレ議長」が出てくるような年次ですので、はい。

そもそも、在学中から紅白しましまの「はちまき手ぬぐい」を作つたり、土人踊り（当時、現「猛者踊り」）でゲリ幹（ゲリラ幹部）略。2年生有志による。通常、剣と盾を装備し、先発隊（当時、現在は「白聖団」でしたつけ？）において1年生の統率補助を行い、部族の戦士階級という位置づけから運動会当日は部族間全面戦争の前にゲリ幹のみでの戦闘（一種のソロバート、独演？）を行うに槍・棒術部隊を創設、新任の先生（O.B）に土人踊りに参加いただいたら、高総体開会式が雨で流れたために第二体育館（当時）で一度だけ披露した幻の「太鼓エール（バットエール）の太鼓版、要員2名必要）」を考案したりとちょっと変更もとい、おかしいや、独創的な

（？）。

30周年で同期会を開催しなかつた理由、当年次の同期会は夏のオリンピックに合わせた4年周期なので30周年は時機が合わなかつたんです。オリンピックに合わせたのは「卒業〇〇周年」って普段の生活の中で意識してる人って少なんですね、と卒業時に懸念しまして

オリンピックなら幹事が呼びかけるまでもなく世間が盛り上がる、ならばそれに合わせて開催することで「オリンピック＝同期会」といよね、と卒業時に懸念しましてやら？

そんな訳で30周年記念同期会は開催しておりませんが来年、2020年は定例の同期会開催年になります。同時に殆どの同期生が50代に足を踏み入れる年でもあります。定年延長や再雇用で70代になつても働かされそうな世情ですが、次代に何かを残すには引退よりかなり前、元気が残つていて物事を動かす実権を持つている間に動き始めないとね。

ま、真面目な行動は優秀な同期諸氏にお願いするとして、オラは「こんな変なおっさんでも首も括らず生きていられるぞ」と言う希望を後世に残すという事で：え？ふざけるな？ふたつける？いやあ、おもさげね。字数が尽きたようなので失礼するす。なんだ

特集

もつと母校に行つてみませんか？



生徒が撮影した土星

一高のランドマーク
天体ドーム

改元、ラクビーW杯、盛岡シティマラソンなど令和元年号は、多くの出来事がありました。が、天体イベントも盛りだくさんでした。はやぶさ2や探査機ニュー・ホライズンズ、部分日食、多くの流星群、宇宙旅行計画など。

人類にとって宇宙は相変わらず特別な場所です。

卒業して様々な経験を重ねましたが、私は一高は特別な場所です。そんな母校ですが、卒業してから入ることもなく、新校舎がどのような感じなのかまったく分かりません。ずっと気になつていました。そんな私にとっておきのイベント告知がありました。

全国大会に出場もしている天文部が毎年定期開催している「星を見る会」に10月4日、参加してきました。

卒業を境に、すっかり足が遠くなつていた母校の訪問でしたが、観測設備に限らず、エレベーターや発電計など現代的な設備が散見され、こちらにも大いに驚かされました。とはいえ、校門の風景や教室の雰囲気は懐かしく感じられるものがあり、ひと時ながら日常を忘れ、当時の思い出す時間ともなりました。

現校舎の4階には、岩手山を一望できるテラスが設けられています。そこから望む岩鷲山は、変わらぬ面影をそのままに、見る人を高校生当時へ呼び戻すと思います。オトナになつた現在はまた違った想いに気づかせてくれるかもしれません。

ぜひ一高に立ち寄つてみてはいかがでしょうか？

*来年度の「星を見る会」の予定は、一高ホームページを確認

当日は、台風接近中にも関わらず、小学校から年配のアマチュア天文家と幅広く10数名が参加しておりました。台風による影響のため残念ながら予定されたイベントを縮小しての開催となつたものの、現役部員からは、若々しさ溢れる天体観測の発表に加え、自作プラネタリウムを使い、神話を交えて秋の夜空と星座についての解説などがありました。30名を超える部員を抱える天文部員の工夫を随所に感じることが出来る内容でした。新校舎になつた際には一度白紙になりましたが、さまざまひとの尽力により建設がきまつたものが遠くからも見える立派な天文台。学校設備として天体ドームを持つだけでも珍しいと思います。そ



迫力の 200mm 屈折式望遠鏡

取材／松田 俊記、豊田 陽平、北澤 未月（平成 10 年卒）

■昔と今

の内部にはまるで専門施設のような大きな直径 200mm の屈折式望遠鏡がありました。実際のドーム開閉稼働は悪天候のため拝見できませんでした。この望遠鏡は、地球の自転に合わせて動き観測出来る設備を有していることは大変驚くものでした。私も含め初めて見るという参加者が、盛んにシャッターを切つていたのも頷けました。ドーム開閉は次回への楽しみにしたいと思いました。

「グローバル法務の 最前線」 特別講演

講師／宍戸一樹氏（平成7年）
（しじど かずき）

このたびは、歴史ある白堊同窓会の場に講師としてお招きいただき、誠にありがとうございました。本日のテーマは三つです。まず日本の法律事務所が世界的に展開するに至った背景についてご説明します。次にグローバル法務がどのような分野を対象として行われてゐるのかを簡単にご紹介し、その上で幾つか特殊な法務分野について取り上げていきます。

まず法律事務所とは何かをお話します。現在弁護士は日本に四万数千人おり、中でも国際的な業務を行つてゐる事務所は、業界では一般に国際法律事務所または涉外法律事務所と呼ばれています。実際の業務はインバウンド（海外から国内へ来るお客様を相手とする）とアウトバウンド（国内のお客さんが海外に行くのを相手とする）に大別できます。以下、これらの業務との関係において、我が国の国際法律事務所がどのように発展してきたのかを簡単に見ていきます。

開国～戦後～八〇年代　涉外事務所や涉外法律事務所ができたのは幕末の開国後です。明治時代、一八七〇年代になると弁護士（当時は代言人）の中に英語やフランス語を学んで涉外業務を行なう方が現れました。その先駆けは英吉利法学校（現・中央大学）の初代校長、増島六一郎先生です。その後、戦後から

開國～戰後～八〇年代

かざるを得なくなりました。しかも日本国内の弁護士が増えていくという状況に突入していくます。さらに外資系の法律事務所の日本市場への本格参入を促す法改正が二〇〇三年にあり、今日までに日本の事務所が大規模化していきました。

二〇〇〇年代～中国との関係

代未聞の出来事もありました。他方、歐米系の資本がなくなつていく中で、中国のボリシーが大きく変わりました。昔は中国語の「引進来（インシンライ）」の中に引き込んでいこうというボリシーだったのが、「走出去（ゾウヒュチイ）」、外に出ていこうと。中国は、もう変わった、技術は十分取つたのだと。だからその中国の技術、資本で世界へ出ていこうという動きが、二〇〇九年ぐらいから顕著になりました。その後、一帯一路ということで、中央アジ

日本の法律事務所も世界

二〇一〇年以降、さらに外弁法が緩和されて、外国人の弁護士が日本にどんどん入りやすくなつてくる。でも日本で外国の弁護士は法廷に立てない。これは大前提ですが、今まさに日弁連で改革を進めており、仲裁という裁判外の紛争解決手続は、外国

アドバンテージがありました

でした。また、必ずしも英語でビジネスが完結するわけではありません。現地語の壁や現地の文化があり、この意味では英米の法律事務所と我々も同じですから、戦う余地がありました。さらに漢字文化圏、こと中国やベトナム、韓国、台湾、香港は、元の法律用語がほとんど日本から入っていません。我々も勉強すれば現地語が読めるようになる国々ですので、我々にとつて非常にアドバンチーテージがありました。

九〇年代

一九六〇年代くらいまでは外資系の法律事務所が渉外業務をほぼ独占していました。戦後一九四九年に弁護士法で日本の弁護士資格を持った人しか法律業務を行ってはいけないと定められましたが、経過措置によりしばらくの間は外国の弁護士が日本で活躍していました。

六〇年代の後半、高度経済成長期には日本の弁護士による渉外業務の開拓が盛んに行われるようになり、七〇年代から八〇年代にかけて日本の弁護士による渉外法律業務が全盛期を迎えます。

入政策は、中国の安い労働力を利用して製造のコストを下げていきたいという日本企業や外国企業の思惑がまずあり、外国の高度な技術を吸収して、製品の輸出による外貨獲得を図りたい中国の政府との思惑が合致した形で、中国の生産についての規制緩和がなされていきました。当時の日本企業の進出は、基本的には中国で物を作つて世界に売るという形の生産型企業がほとんどでした。業種によつては出資比率の制限や規制もありました。

アジア法務の重要性

アもしくはシルクロードは全て中国の庭だという形で、今彼らはどんどん出ていって、加盟から一気に得てきた技術、外貨または中国の中の司法も含めたいろいろな人材の成果だと理解しています。

そのような状況下ですが、日本の飲食業や小売業という内需産業は、少子高齢化で国内市場が縮小してきたということもあり、中国の十何億人の市場を狙いました。そこで、弁護士たちにとつても中国ビジネスがドル箱のようになつていきました。（中略）



の弁護士が日本でできるようにしようという方向で動いており、日本の弁護士と外国の弁護士が、日本国内で本当に競争するような状態になってきています。外弁法の改正と相まって、また法曹人口が増え、弁護士は今四万人を超えていました。

そのような中で、さらにグローバルコンプライアンスという形で、日本企業が全世界で商店や子会社の法律の運営の適正を担保しなければいけないという状況になっています。（中略）

このような状況の中で日本の法律事務所は、世界にどんどん出ていこうとしています。二〇一一年には、北京とかニューヨーク、上海ぐらいにしかなかつた事務所が、どんどん世界に出ていっています。日本だけではなく世界各国を、日本の各事務所がモザイクのように押さえていくのがこれから時代だと考えております。

海外に関するグローバル法務の一例として、アジアの投資業務、クロスボーダーの例を挙げます。例えば中国とかベトナムにお客さんが出ていたいという場合、現地のどの都市でどういう需要があり、どういう法規制があるかということを我々が調べ、それで採算が取れるのかというフィジビリティ・スタディを行います。そして外資規制をクリアしながら、現地法人設立、工場の開設を行い、その中でさらにM&Aとか、現地で業務提携、ライセンスをして移転価格に気を付けながら配当を吸い上げたり、いろいろな形で日本へ利益を還元し、そして駄目になつたら事業撤退するという、いわゆるゆりかごから墓場までという形でずっとお手伝いするというのが、アジアで私たちもがやつてある業務の一つです。

またローカルの業務の例としては、一般企業法務ということで現地の法律の調査、現地の株主総会や取締役会の運営支援、もしくは労働問題ということで現地法のアドバイスをすることあります。ただこれは現地の国の法律の話なので、日本の弁護士だけでは完結せず、これをどうクリアしていくかが我々の課題でした。（中略）

特集

食を通じて人を繋げる

生産者
ます。

生産者とお客様を繋げる先導者

2011年3月11日、誰もが悲しみに明け暮れた一日。孤独という心の傷を癒すのは「食」という名の希望。渡邊家の長女である近藤里沙（旧姓 渡邊里沙 平成9年卒）さんは震災前の2008年、誰もが知る優良企業を辞め盛岡に帰つてきます。

人々、環境問題の解決に対し食が重要なファクターではないかと考えていた事、自然が近くにあるという事が合致した結果、地元岩手で事業を開拓します。



創業から44年。現在は年に数回イベント等で焼き鳥を焼いたりしています。

戦陣？？「戦国焼鳥秀吉」では？とお思ひの方もいらっしゃるでしょう。現在会長である渡邊史朗さん（昭和42年卒）が脱サラし、福岡の焼鳥店に修行しに行つたお店の名が「戦陣焼鳥秀吉」だつたそうです。近くには「信長本家」「戦国焼鳥家康」と名だたる武将のお店があり、太鼓をたたくスタイル、ドラをたたくスタイルもあつたそうです。そこで暖簾分けして頂き、盛岡の地にホラ貝を吹くスタイルの「戦国焼鳥秀吉」が出来たのが44年前。今では焼鳥屋のほか飲食店を合計5店舗、食材を販売する事業などを盛岡一高卒の3兄弟中心に行つており

食材を販売する事業を立ち上げ、少し
ずつ拡大していた矢先での震災。生産す
る大変だというのに、追い打ちをかけた
「風評被害」。さらに沿岸での魚介類の養
殖は出荷までに2～3年かかるため、漁業
を再開してもすぐに収入が得られるわ
けではないのです。そんな状況を救つた
のが、里沙さんの強い思いに賛同する仲
間の方たちでした。

「私たち被災地に何もする事が出来な
いが、里沙さんに力を貸す事が出来る!」

仲間の方々が里沙さんに協力し、里沙
さんが生産者につなぐ。その時はなかつ
たであろう、クラウドファンディングが
必然の行動として行われました。代表例
と致しますと陸前高田市広田湾 奇跡の

秀吉としての事業は「食」全ての分野で進行中です。飲食店を経営している視点から、飲食店向けの食材販売も展開しています。次男渡邊昌也さん(平成12年卒)は一度盛岡に戻るも、岩手の食材を全国に届けたい!!と、再び東京に戻り、岩手の食の営業マンとして飛び回っています。都内で岩手の食が食べられる場所が増えています。単に食材を販売するだけではなく、生産者と料理人を繋ぐ活動やイベントなども開催しています。長男である渡邊史隆さん(平成6年卒)が社長としてリーダーシップを發揮し、長女里沙さん、次男昌也さんが新たな食のシステムを構築する。3兄弟のチームワークが岩手の未来を変えようとしています。



3年かけてつくる牡蠣
はとっても大きくぷり
ぷり!生産者と岩手の
自然環境が生み出す食
材を多くの人に届けて
います

olahono QR コード
ここから県内の食材が
買えます。



長女 里沙さんと次男 昌也さん

取材／鈴木 真吾、吉田 真雄、大森 由希江（平成 11 年卒）

最後に、様々な話を聞きましたが日本の食料自給率を聞いてちょっとと考えさせられました。

39%：61%は他国からに頼つている現状。未来の岩手を考えるのであれば、やはり地産地消が重要になつてくると感じました。「秀吉」は食を通じ、私たちにパワーをくれる事だけでなく未来の私たちの在り方を提案してくれているのではないかと感じる取材になりました。



岩手の食材を食べられるお店一覧 QR コード

国体・インターハイ・全国高総文祭

全国大会出場今年も続出！



最後のインターハイは、3位入賞で終わることができました。もちろん銅メダルを頂いたときはとてもうれしかったのですが、それ以上に、今まで無気力だった自分が山登りを通して成長できたことが何よりの宝物になりました。応援してくださいさつて本当にありがとうございました。

3年7組 山下 ちひろ
私は3年連続でインターハイに
出場することができました。最終
学年の宮崎インターハイは、最も
印象深いものになりました。大会
では課題テストや読図において、
全員が満点を取りました。3日間
の登山行動では、多少バランスを
崩す場面がありましたが、山に登
ることが楽しくて正直詳しく覚え
ていません。その他、細かいミス
はあつたものの全員が3日間本気
で取り組むことができたので最終で
日の登山行動後は充実感で満たさ
れていました。同時に、私にまた
ような環境を与えてくださった顧
問の先生や両親のありがたさも実
感しました。

頂きに立ちて

登山部

男子テニス部

はじめに、白堊同窓会の皆様に大輔橋本3年4組おかれましては、物心両面にわたり日頃より部活動を応援していただき、心より感謝申上げます。私は、高校入学当初、全国大会で1勝することを目標に掲げました。シングルスでは2年生までなかなか結果が出ず、全国大会に出場することすら叶わない苦しい日々が続きました。しかし、あきらめずに忍耐強く練習を積み重ねるうちに、苦しい状況にあってもチヤンスが訪れるまで冷静に状況を見極める粘り強いプレーができるようになり、リードされていても逆転勝利するゲームが増えときました。そのようにして習得したプレースタイルで、県高総体、そして続く東北大会で個人優勝を果たすことができたことは、私にとってこの上ない喜びでした。イン



全国大会に出場して

3年4組 橋木

インターハイに出場して



女子テニス部

国民体育大会に参加して



陸上競技部

私は第74回国民体育大会の陸上競技に出場し、8位でした。この大会に向けて、ラストで競り負けないように持久的な練習を多く行いました。また、800m

方々などたくさん的人に感謝申上げます。

最後に、インターハイを経験して3年間の部活動生活を締めくくることができて、本当に嬉しく思います。来年は、インターハイでの勝利を目指し頑張ってほしいと思います。ありがとうございます。

大会では、全国の強豪を相手に先に攻め、持てる技を果敢に繰り出し、速いテンポでゲームを組み立てることが思うようにできませんでした。この悔しくも名誉ある経験を生かして、これから何事においても先んじて攻めの姿勢で取り組んでいきたいと思います。

このように、大好きなテニスに思う存分励むことができたのも偏に白堊同窓会、そして両親、顧問の先生、テニス部の仲間の温かいご支援があつたからこそだと思いつます。本当にありがとうございました。

方々などたくさん的人に感謝申上げます。 私たちは8月に宮崎県で行われたインター大会で、奈良県代表の登美ヶ丘高校と対戦しました。結果は0-1-3で負けてしまい、全国のレベルの高さを感じました。ダブルスでの接戦や、シングルスの奮闘で流れが変わりそうな場面はありました。相手の隙の少なさに自分たちのペースに完全には持っていくことができませんでした。悔しさもありましたが、インター大会という大舞台でテニスをできたことは貴重な経験となりました。

私たち眞暮将棋部は、7月30日～7月31日に佐賀県で行われた全国高等学校総合文化祭将棋部門の団体戦に出席してきました。惜しくも決勝トーナメントで横浜サイエンスフロンティアに敗れてしましましたが、ベスト12という結果を出すことができ、嬉しく思うと同時に、来年こそは去年の先輩方が成し遂げられなかつた全国優勝を成し遂げてみせる、と、出場した三人で強く誓ひ合いました。そして、引率の川村先生と大沼先生、駒の動かし方すら知らなかつた状態から一年で全国の舞台で戦えるレベルになるまで丁寧に将棋を教えて下さった佐々木先生、私たちを支えてくださつた全ての方々に、この場を借りて感謝申し上げ

围棋将棋部

にに関しては高校最後のレースになるということで、1日1日の練習に妥協をせずに臨むことができました。本番では自分が積み重ねたものに自信を持つことができ、予選、決勝ともに全力を尽くすことができました。

大会を通じて、私は目標を達成するためには実直な努力が必要だと分かりました。私は今まで長い距離を走るのが苦手だったのですが、あまりそのような練習をやっていませんでした。しかしそれこそが乗り越えるべきものであるので、日々丁寧に走るよう心がけ、克服することができました。

このような結果を残すことができたのは激励してくださった先生や応援して下さった方のお力添えあつてのことと心から感謝しております。ありがとうございました。これからも高校最後の大会まで走り抜きます。

ます。本当にありがとうございます。
これから部活動では、全国優勝という悲願を達成するため、部活動の仲間や他校の同じ囲碁将棋部の人たちとの対局を通して研鑽を積み、日々棋力向上に努めていきたいと思います。

の研究は、特定外来生物とそれに依存して生息する絶滅危惧種の悩ましい関係について、2年間の調査結果をまとめたものです。地域に根ざした興味深いテーマであるとの評価をいただきましたが、残念ながら、2年連続の入賞は果たせませんでした。他県のレベルが高い研究や、意欲的な活動に触れることができとても刺激になりました。

であることと創作する人には伝わる
たいことがあるという創作の異なる
側面を感じ、改めて美術という
もの難しさを感じました。今後
もよりよい美術の未来のために
分にできることを探し続けていき
たいと思います。

鬱鬱」という感情を表現した満足感のいく衣装をつくることができました。この衣装の制作は初めてでしたが、全国の高校生がついた様々な衣装やウォーキングなどの表現方法に触れたり、仲間と一緒に協力して制作を行ったりし、自らの刺激を受けました。この経験を生かし、これからも様々な作品の制作に取り組んでいきたいです。

生物部

2019さが総文に参加して



全国高等学校総合文化祭に
参加して

3年7組 鷹觜 慧
2019年7月27日から29日にかけて開催された全国高総文祭に参加しました。自然科学部門で、



美術部

3年2組 佐藤 茗
大切な自分の作品を連れて向
かったのは気温35度の佐賀県。今
年の夏はここに約400点もの美
術・工芸作品が集まりました。出
品作品はどれも美しく、緻密で、
大胆で、そのすばらしさに圧倒さ
れました。また、作品をつくった
方々と話す中で、鑑賞者の見解と
作者の意図には共通点と相違点が
あり、作品を見る人の解釈が自由

A photograph showing a woman in a vibrant, multi-layered skirt and a large black hat standing between two students in dark blue school uniforms. She is holding up a small circular sign with the number '28' on it. The students are making peace signs with their hands.

全国高等学校ファッショントークン選手権大会に参加して



書道部

全国高総文祭に参加して

3年4組 佐藤 龍星
全国高等学校総合文化祭に参加し、全国の作品との交流を通して大きな成長を遂げることができました。展覧会では、全国から集まってきた作品を鑑賞し、その表現の多様さに驚きました。私の作風と通ずるもの、そうでないもの、全てから大きな刺激を得られました。今後の創作活動にいかしたいと思います。交流会では、佐賀県の書道家「中村梧竹」に因んだ企画や、



羽をかたどった和紙に言葉を書き、気球型のオブジェに張り付け
る「バルーン作成」を行いました。
どの企画も地域の特色を生かした
もので、交流を楽しむとともに佐
賀のよさを存分に堪能することができます。私がこの大会に参加
できたのは、ひとえに先生方のご
指導と支え合った仲間のおかげで
あります。この経験を糧にして、
これからも更なる自己の研鑽に努
めてまいります。

放送委員会



白堊同窓会 Web ページの開設について

同窓会の活動を多くの会員に知っていたいただき、会員相互の交流に役立てたいという趣旨で、平成31年3月31日に開設しました。ぜひご活用願います。

hakua-dousoukai.jp



Facebook アカウント 白堊同窓会
Twitter アカウント 白堊同窓会



※画面はイメージです

大会では良かった作品や個人に感想を送ることができます。一高のテレビドラマにも手紙が送られてきました。その手紙から、作品が相手の心を動かしたことなどがわかったり、感動しました。作品を見た人に、聞きたいという人がいたときが表したい思いが作品を通してながる瞬間が放送の面白さだと感じました。多くの人を虜にする作品も誰か1人の心に響く作品も作ることがができる放送活動は奥深いものだと感じました。これからも「届ける放送」を目指して毎日の放送活動に励んでいきたいと思います。

部活動の 記録

平成30年12月～令和元年11月の 大会結果について

部活動の 記録

部活動の記録



女子シングルス	鹿糠歩佳	2位	東北ジユニア
田中彩華	5位	東北ジユニア	伊藤由惟
関華乃	9位	伊藤由惟	予選
乗上敦子	1回戦	伊藤真衣	小川遥、尾藤美有、
小川遥	1回戦	尾藤真衣	佐藤真衣、
伊藤由惟	予選	佐藤真衣	伊藤由惟
高総体県大会			
男子団体戦	準優勝	東北大会	
2回戦	盛	3-0 盛三	
S1 橋本大輔	D1 三浦敬之	S2 高橋聖門	
八子慎太朗	盛	2-1 盛四	
S1 橋本大輔	D1 三浦敬之	S2 高橋聖門	
八子慎太朗	盛	1-0 岩手	
決勝	八子慎太朗、三浦敬之		
S1 橋本大輔	八子慎太朗		
八子慎太朗			
男子シングルス			
小林祐祐、早川威、梅村一輝			
箱石琉之	1回戦		
三浦敬之、大村朋	2回戦		
八子慎太朗、高橋聖門			
ベスト16			
橋本大輔	優勝	東北大会、	
インダーハイ			
男子ダブルス			
大村朋、梅村一輝	2回戦		
高橋聖門・八子慎太朗	3位		
橋本大輔・八子慎太朗	2回戦		
女子団体戦	優勝	東北大会、	
インターハイ			
2回戦	盛-2-1 白百合		
S1 佐藤真衣、関華乃、			
S1 鹿糠歩佳、S2 千田彩華			
女子シングルス			
佐藤真衣、S2 千田彩華			
準決勝	盛-2-1 花巻北		
乗上敦子・関華乃、			
千田彩華			
千田彩華	1回戦		
乗上敦子	1回戦		
鹿糠歩佳	3位	東北大公	
鹿糠歩佳	ペースト8		
女子ダブルス			
田中彩華	2位		
東北高校選手権大会			
男子団体戦	ペースト8		
男子個人戦			
男子シングルス			
女子団体戦	ペースト8		
1回戦	盛-3-0 秋田		
D 高橋・三浦	S1 橋本・S2 八子		
2回戦	盛-1-2 日大山形		
D 高橋・箱石	S1 橋本 S2 八子		
2回戦	盛-0-1 東京		
D 乗上・関、	盛-1-1 青森東		
盛-0-1 東京			

【県高校囲碁新人大会】 個人戦女子 Bクラス 鈴木淑久 小川花乃 CON 谷藤沙帆	1位 2位 3位
団体戦男子 Aクラス 盛一 A 鈴木淑久・大森玄 東北大会	東北大会
団体戦女子 準優勝 盛一 石川怜・千葉神楽・鈴木幸恵 準優勝	大森玄 東北大会
女子団体戦 千葉神楽 全国新人大会、東北新人大会 鈴木幸恵 1位	1位
県対抗の部 石川怜 全国新人大会、東北新人大会 鈴木幸恵 3位	3位
東北新人大会 段位者の部男子 鈴木淑久 大森玄 盛一 A 千葉神楽・石川怜・ 鈴木幸恵 優勝 2位 出場	4位
女子団体戦 大森玄 盛一 A 千葉神楽・石川怜・ 鈴木幸恵 優勝 2位 出場	2位
○英語部 [H30]全国高校生英語ティベーネ大会 福井 22位 ベストサポーター賞 Resolved (題論) That Japan should legalize voluntary active euthanasia. (日本国民は、本人の意思による積 極的の安楽死を合法化すべきだ ある。がむかせ。) CON 柏嶺郁海 aff CON 大木戸七海 neg ATT 三浦千明 DEF 煙田妃那 SUM 鶴野加奈子 CP 菅原百代	東北高校囲碁選手権大会
【令和元年度】岩手県 Kenji Cup 高校英語ティベーネ大会 テームA [Resolved: That the Japanese government should limit the weekly maximum average working hours, including overtime, to 48 hours, following the EU's (日本国民は、残業も含めた週あたり の最長平均労働時間を(EUに) ならこ)48時間に制限すべきだ ある。がむかせ。) チームA 優勝	県対抗の部



★部活動の最新情報はウェブでどうぞ！ www2.iwate-ed.jp/mo1-h/

平成31年度 大学合格者数一覧

■ 国立大学

大学名	現役	過卒
北海道大	4	5
帯広畜産大		1
北海道教育大	1	
室蘭工業大	1	
弘前大	5	2
岩手大	29	4
東北大	33	15
宮城教育大	4	3
秋田大	4	3
山形大	1	1
茨城大	1	1
筑波大	1	
埼玉大	1	1
千葉大	7	2
お茶の水女子大	1	1
電気通信大	2	1

■ 公立大学

大学名	現役	過卒
東京大	8	5
東京外国语大	1	
東京学芸大	4	
東京工業大	2	
東京芸術大	1	
東京農工大	1	
横浜国立大	1	1
新潟大	1	1
富山大	1	1
金沢大	2	
京都工芸繊維大		2
奈良女子大	1	
京都大	2	
合計	120	50

■私立大学

大学名	現役	過卒
青山学院大	2	3
中央大	3	12
東京理科大	4	6
法政大	10	12
明治大	9	18
立教大	3	3
慶應義塾大	3	11
早稻田大	13	9
合計	47	64

■ 医学部医学科

大学名	現役	過卒
弘前大	1	1
東北大	2	
秋田大	2	2
山形大		1
千葉大		1
岩手医科大	5	12
自治医科大	1	
獨協医科大		1
東北医科薬科大	1	5
日本医科大		3
大阪医科大		1
順天堂大		1
東京慈恵医科大		1
東京医科大		1
合計	12	30



惠贈 (敬称略)

- ①宮 正夫追想集
宮 正夫追想集発行会

神山 真澄（昭和 26 年卒）

②日本古代貨幣史 吉田欣悦
和銅と和銅開珎の初期鋳錢 吉田欣悦

吉田 欣悦（昭和 26 年卒）

③離散画像の解析、生成、符号化法の
研究 村山登
ギザギザ画像工学 村山登
陽だまりの歳月 加藤勲

田村 匡（昭和 26 年卒）

④寄付金（57,040 円）
平成 19 年卒業生（代表：藤村広平）

⑤在京白堊會 50 年の歩み
在京白堀會

⑥寄付金（111,033 円）
昭和 22 年卒業生

心からご厚福をお祈りいたします。(平成30年11月1日以降ご逝去され、令和1年10月31日までに事務局にご連絡いただいた方々です)

◎白雲 05 全全超 篇 22

白頭 25 会（昭和 25 年亥）

◎左言白亞會今報 47 号

在京白頭金

⑨寄付金 (86,455 円)

白堊物理 Q&A 会（在盛有吉）

⑩小さな窓から レンジファインダー
の中の人たちへ 細川タク昭写真集

細川 久昭（昭和 31 年卒）

⑪開館30周年記念企画展 宮沢賢治展 ようこそイーハトーブの世界へ

山梨県立文学館

つきましては、同窓生の皆様には、白聖同窓会費の納入について、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、例年、白聖同窓会費と各地区同窓会費を混同して納入される方がおられますので、お間違いのないようお願ひいたします。

また、新入生への入学記念品、全国大会、東北大会等に出席する各部に対する部活動奨励費、同窓生を学校にお招きして実施するキャリアアップ講演会など、現役一高生の育成支援にも有効に活用させていただいております。

納入いただいた会費
は、本会報に掲載してお
ります決算書のとおり、
白聖同窓会総会や年次代
表者会議、各地区白聖会
等への役員の派遣、同窓
会報「白聖通信」の発行
など同窓生相互の交流の
ために使わせていただい
ております。

白堊同窓会費の納入につきましては、東日本大震災が発生した平成23年以降は、年間500件を下回る状況が続いてお

会費納入の お願い

事務局から

白堊記念館來館者

白堊記念館来館の折には、ぜひ記帳をお願いいたします

『白聖通信』39号編集委員

來年度母校創立140周年 記念式典・祝賀会

期　　日／令和2年10月10日(土)
式典会場／盛岡市民文化ホール(マリオス)
　　　　　大ホール
祝賀会場／ホテルメトロポリタン盛岡本館